

# 「公開度は水準到達」

## 福島町議会 自己評価をHPで公開

### 活性化度、住民参加に課題

【福島】議会と議員の活動の自己評価を進めている福島町議会は、このほど、二〇〇五年のそれぞれの評価内容をホームページ（HP）上で公開した。全国の町村議会でも自己評価は珍しい試みで、町民に市政に対する関心を持ってもらう狙いだ。

（阿部誠）

### 議員は 議会改革に「満足」

議員の評価は、今年一めた昨年の調査結果など、月に議会運営委員六人を参考に、〇「おおむね」「公開度」「住民参加度」が、道内町村の議会の議「一定の水準」、△二部と主要項目を、計三十員報酬、一般質問数など「水準に達せず」、△「取道町村議会議長会がまとり組みが必要」で評価し

Microsoft Internet Explorer

議事録 表の中心 お気に入り ツールバー ヘルプ

http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/dv/gka/kyouka.htm

●「議員の自己評価」各議員ごとの集計結果  
議員名をクリックするとそれぞれの議員の個表が表示されます。

議員名(議員順)	佐藤 正	佐藤 正	佐藤 正	佐藤 正	佐藤 正	佐藤 正	佐藤 正	計	
評価の分野								8人	
「行政満足」	9	4	11	10	9	3	10	2	58
「努力が必至」	8	14	6	5	8	5	3	6	56
「公平に努力が必至」		1	3	3		2	5	10	27
計	17	19	20	16	17	10	18	21	141

議員の自己評価を公開する福島町議会のHP

た。〇五年一十七月の「公開度」「住民参加度」が、道内町村の議会の議「一定の水準」、△二部と主要項目を、計三十員報酬、一般質問数など「水準に達せず」、△「取道町村議会議長会がまとり組みが必要」で評価し

項目△が議員提案件数、その結果、〇が二十六、議案会開催など五項目、▲が討論者数、議会報告会の開催の二項目。〇は、委員会や審議記録の公開など「公開度」に関する項目で多かった。一方、渡島管内町村平均よりも一般質問者数、議員提案件数が少なかったため「活性化」は低い評価だった。開催が一回だけの町民懇談会、

開催ゼロの議会報告会などの実情を反映し、「住民参加度」も低かった。一方、議員の自己評価は強固ではなく、〇五年三十二月を振り返り、三十四人中八人が提出、議員協会は決めた行政、福祉、その他など、まず六項目があり、八人はさらに独自でそれぞれに具体的項目を自由に設けた。人によって、十から二十項目とした上で自

己評価し、八人で計百四十一項目となった。計百四十一項目の評価を見ると、〇「ほぼ満足」、△「努力が必要」、△「さらに努力が必要」で分類したうち、〇は五十八項目、その他「の分野の、議会改革や町内会活動などの〇が多く、五十八項目のうち二十三項目を占めた。▲は二十七項目で、町財政への政策提言の不評価などを挙げている。評価は今後も継続し、議員個々の資質向上を図る。溝部幸基議長は「議会に関心を持って、意見を述べてほしい」と町民に呼びかけている。それぞれの評価と、その根拠となった道町村議会議長会の調査など公開した資料はHP上で公開している。アドレスは

http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/div/ikai/